

## 滑石製石鍋と滑石混入土器

### ～貝塚時代からグスク時代移行期の集団関係試論～

#### はじめに

沖縄諸島を中心とする地域の、貝塚時代後期からグスク時代の移行期について考える。今回用いる考古資料は、主に滑石製石鍋及びその破片や破片を用いた加工品と、滑石を粉砕して土器混和材として用いた滑石混入土器である。貝塚時代後期のいわゆる狩猟採集民集団とグスク時代初期の農耕民集団との関係について、動態的に考察を深める。

#### 1. 土器編年

- ・貝塚時代後期終末期：無文の甕形土器で、くびれ平底が小径平底化した底部
- ・グスク時代初期：グスク土器第1段階、滑石製石鍋模倣の鍋形土器と甕、羽釜形土器がセットになる

#### 2. 滑石製石鍋（別表参照）

##### 1) 滑石とは？

##### 2) 滑石製石鍋研究略史

I期 発見（1978年） II期 集成（1983年～2002年） III期 破片移動の指摘（2003年）

IV期 城久遺跡と小堀原遺跡報告—列島内における量的偏在の発見—（2006年～2012年※報告年）

##### 3) 滑石出土数と滑石破片の重量

圧倒的な2つの求心点 ・城久遺跡群 2,392片（約70kg） ・小堀原遺跡 492片（約9.3kg）

##### 4) 滑石破片流通仮説

滑石の破片利用事例（小堀原遺跡6号土坑墓では、幼児骨の頭上上方より滑石石鍋の加工品が出土）

##### 5) 滑石破片の分類

- ①石鍋の復元が可能なほど形を保持している
- ②石鍋であることは分かるが明らかな破片
- ③石鍋かどうかわからないほど細片
- ④模造品

※破片の大小あり、量的把握と計量が課題 ※回収方法にも課題あり

#### 3. 滑石混入土器

##### 1) 滑石混入土器

滑石製石鍋：滑石で作られた煮沸具（鍋）

滑石混入土器：土器の混和材に滑石を粉砕して入れた土器

（グスク土器以外にも、曾畑式土器、楽浪系土器にもみられる）

石鍋模倣土器：滑石製石鍋の形態的特徴を模倣した土器。滑石粉を入れるものと入れないものあり。

##### 2) 滑石を混入するのは、石鍋だけではない。

##### 3) 滑石粉の混ぜ方は様々ある

- ①粉砕して入れる（多寡、粗い/細かい）
- ②土器表面に塗布する
- ③部位によっても量が異なる

##### 4) 滑石混入土器の出現時期

- ①現在のところくびれ平底土器に滑石を混和材として用いた資料はない。
- ②グスク土器第1段階に占有的にみられる。
- ③グスク土器第2段階ではほとんど認められない。

5) 滑石混入土器の出現率（在地土器に占める滑石混入土器の割合）

- ①奄美では25%程度。
- ②徳之島では50%以上
- ③沖縄ではほとんどが10%以下
- ④先島では数片のみ

#### 4. 集団関係（試論）

1) 小堀原遺跡と後兼久原遺跡をどう解釈するか？

2) 遺跡の類型化

**類型1**：滑石製石鍋が主体で土器は甕ばかり、滑石破片が大きく多量（小堀原遺跡）

**類型2**：グスク土器鍋が主体、滑石の大きな破片を含むが基本は小片（後兼久原貝塚）

（遺物少量短期：フガヤ遺跡、喜友名原第2遺跡、タシーモー遺跡、ウガンヒラー北方遺跡）

**類型3**：グスク土器と貝塚後期土器が出土、滑石破片比較的出土、加工品も多

（屋部前田原貝塚、熱田貝塚、識名原遺跡、伊良波遺跡、砂辺サーク原遺跡、安謝東原遺跡）

※ただし、これらの遺跡は前代からの連続の可能性もある。

**類型4**：貝塚後期土器が主体に、白磁、カムイヤキ、グスク土器出土。滑石無しもしくは小片

（※典型的で代表的な遺跡か疑問も残るが。安波貝塚、松尾原洞穴遺跡、ヤジャーガマ遺跡）

**仮説1（集団差）**：類型1は奄美や徳之島からの入植初期の遺跡。各島嶼群に類型1から4が同時に存在

**仮説2（時間差）**：類型1から4は漸次的な現象として入植と拡散の歴史を示す可能性。

※あるいは、というより、たぶんその両方。

#### 5. 課題

- ①農耕の始期を貝塚時代の土器型式にさかのぼって検証
- ②土器編年の細分化
- ③遺構・遺物のセット関係の把握
- ④島嶼部における展開

#### ＜参考文献＞

今帰仁村教育委員会（編）2009年『グスク土器展～県内グスク時代主要遺跡より～』

宮城弘樹 2010年 a 「目手久川嶺辻遺跡第5遺構面出土土器の位置付け」『川嶺辻発掘調査報告書』伊仙町埋蔵文化財発掘調査報告書（13） pp. 98-103

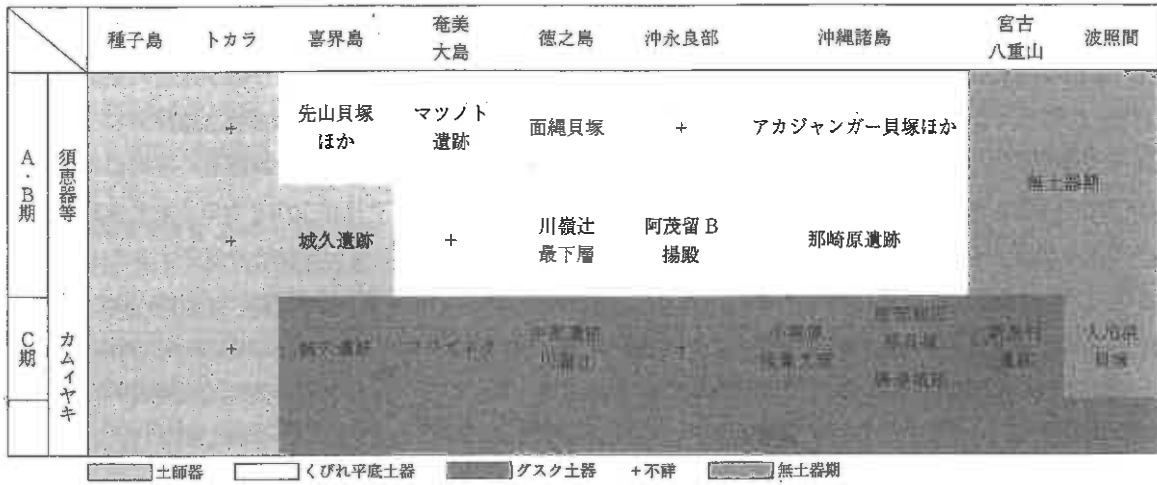
宮城弘樹 2010年 b 「貝塚時代とグスク時代（特集 南西諸島の考古学）」『月刊考古学ジャーナル』597pp21-23

宮城弘樹 2011 「グスク出現前後の考古学研究史とその論点の整理」『沖縄文化研究』37 沖縄文化研究所 pp. 215-265

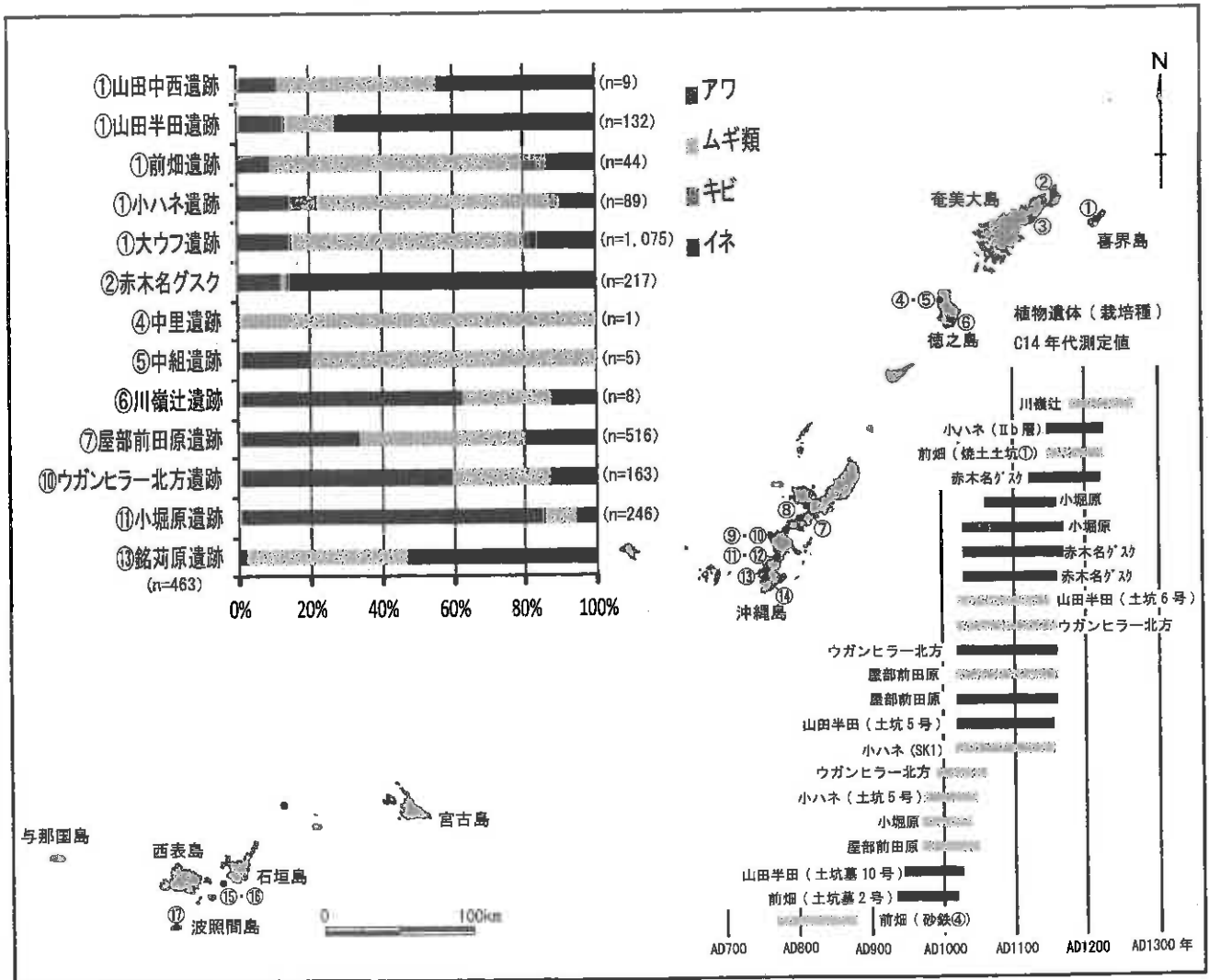
宮城弘樹 2014 「貿易陶磁器出現期の琉球列島における土器文化」『琉球列島・先史原史時代における環境と文化の変遷に関する実証的研究 研究論文集』高宮広土・新里貴之（編）六一書房 pp. 199-214

宮城弘樹・千田寛之 2014 「グスク時代初期農耕文化の動態」『南島考古』第33号沖縄考古学会 pp. 1-15

※主要な参考文献については、上記論文掲載の文献を参照いただきたい。



第1図 貿易陶磁出現期の琉球列島の土器様相 (宮城 2014)



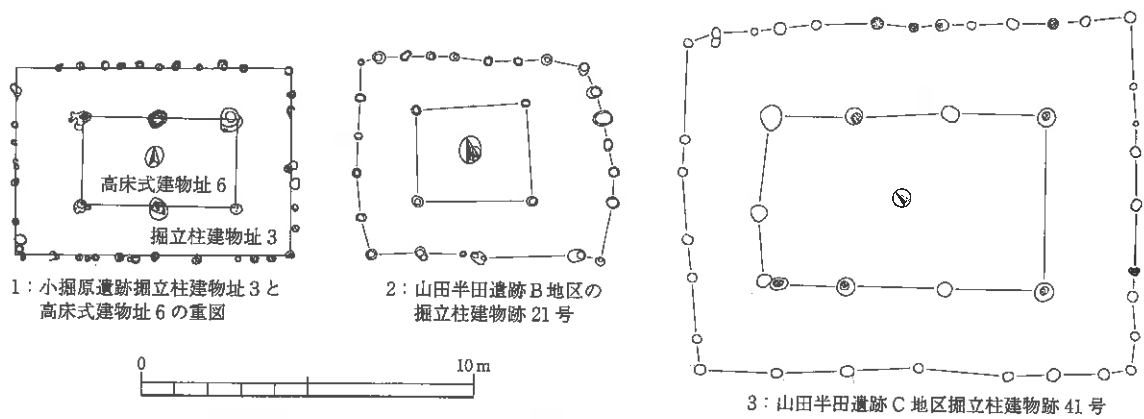
第2図 グスク時代初期の主な遺跡と植物遺体の構成比と C14 年代測定値 (宮城・千田 2014)

遺跡名	地区・層等	調査面積 (m <sup>2</sup> )	遺構				主な遺物 (下段は土器・陶磁器の出土比率)										備考
			掘立柱建物	高床建物	土坑墓	柱穴	石鏝	土器	カマイヤキ	白磁	陶磁器	小計	羽口	鉄滓	鉄製品	石器	
後兼久原遺跡	町 96-97 調査 (第 1 期)	6,210	2	8	4	約 1,600	23	1,253	59	27	1,362	117	5	4	4		*1
							2%	92%	4%	2%	100%						
小堀原遺跡	IV 層 遺構内	7,310	14	17	6	1,218	473	50	195	190	908	238	31	1	69	2	*2
							52%	6%	21%	21%	100%						

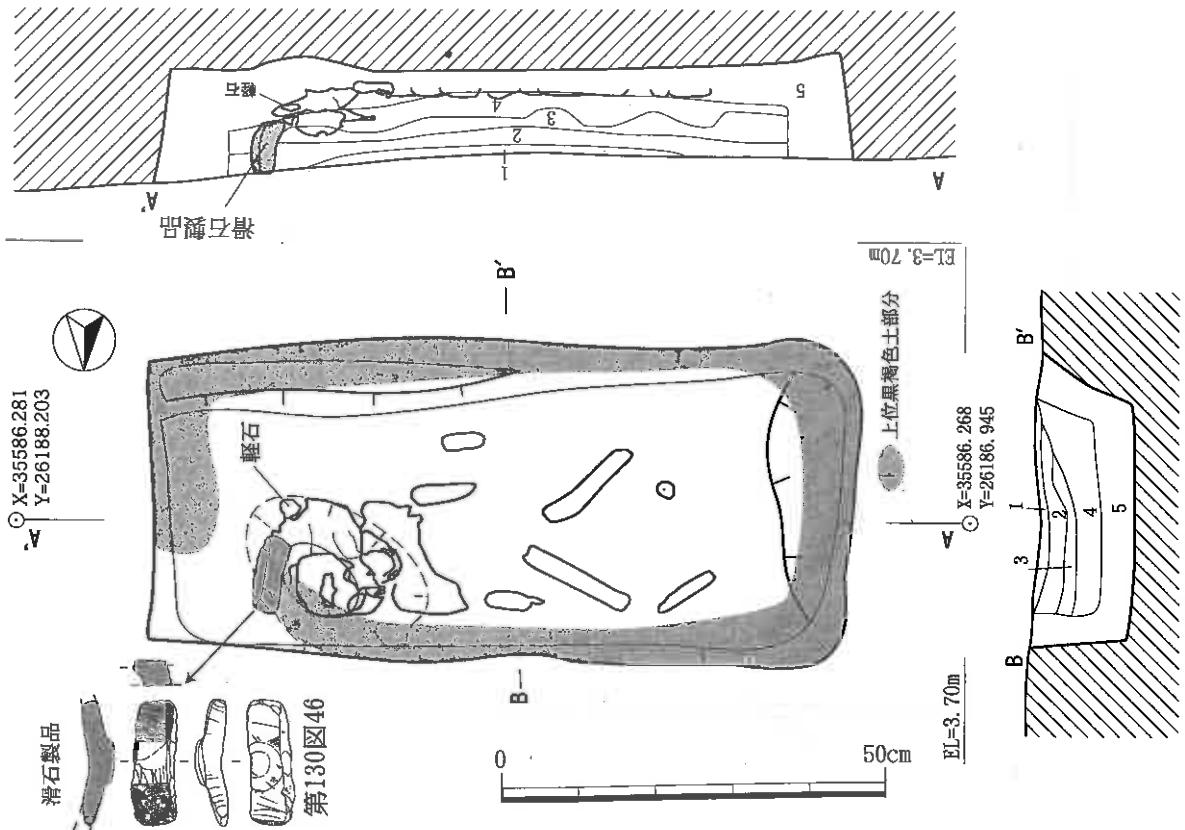
\* 1 遺物は V 層出土に限定して集計。柱穴は一期に限定しておらず後代のものも含まれる。また青磁は年代的に齟齬があることから、集計から除外した。滑石製石鏝の総数は 89 点。

\* 2 出土遺物は I・II 層、層不明を含む、石器のみ IV 層および遺構内に限る。

第 3 図 小堀原遺跡と後兼久遺跡の遺物と遺構 (宮城 2014)



第 4 図 小堀原遺跡の推定大型建物跡と城久遺跡群の大型建物跡 (宮城 2014)



付表 1-1 滑石製石鍋出土遺跡一覧① (暫定版)

2014. 09. 19 (宮城作成)

No	遺跡名	所在	地区・層等	滑石製石鍋		在地土器	滑石混入土器	滑石混入土器/土器		その他
				片数	重量 (g)			口縁底部破片数	破片総数	
	仏ヶ峯出土地	西之表市		○						
	広田遺跡	南種子町	B地区 (B-5)	1	10.4					ハレ状製品
	日ノ丸遺跡	南種子町		1						破片
	中野遺跡	屋久町		○						
	小山遺跡	屋久町		○						
	谷ノ口遺跡	屋久町		○						
	長瀬海岸遺跡	三島村		○						
	中原ユキゲサ宅地内遺跡	三島村		○						
	日高フキ宅地内遺跡	三島村		○						
	浜道遺跡	三島村		○						
	芥切ユキ宅地内遺跡	三島村		○						
	片泊小学校保管	三島村		○						
	黒島大里の個人蔵資料	三島村		1	1,298					
	へき地集会所遺跡	三島村		○						
	イバドンの墓遺跡	三島村		○						
	岩瀬国吉宅地内遺跡	三島村		○						
	大里小・中学校校門前遺跡	三島村		○						
	滑石出土遺跡数 17 遺跡			3						
	大木遺跡	十島村		○						
	タチバナ遺跡	十島村		1						口縁鏝付
	滑石出土遺跡数 2 遺跡			1						
	城久遺跡群	喜界町	山田中西	728	70,000	747	37	5.0%		
			山田半田	403		1104	72	6.5%		
			前畑	499		2097	52	2.5%		
			小ハネ	78		410	21	5.1%		
			大ウフ	294		1782	41	2.3%		
			半田	2		3		0.0%		
			半田口	388		1441	33	2.3%		
	七城遺跡	喜界町		○						
	川峰グスク	喜界町		○						
	坂元遺跡	喜界町		○						遺跡一覧記載のみ
	当地遺跡	喜界町		○						遺跡一覧記載のみ
	志戸橋遺跡	喜界町		○						
	巻畑B遺跡	喜界町		2						滑石製加工品
	巻畑C遺跡	喜界町		1						
	大城久遺跡	喜界町		1						採集記載 1点図版
	長嶺地区遺物散布地	喜界町		1						採集記載 1点図示
	永嶺遺跡	喜界町		○						遺跡一覧記載のみ
	提り遺跡	喜界町		○						
	川掘遺跡	喜界町		1						採集記載あり点数不明
	向田遺跡	喜界町		○						
	アギ遺跡	喜界町		○						
	赤木名グスク遺跡	奄美市		8		8				
	フワガネク遺跡群	奄美市		131		103	20	19.4%		
	用安湊城	奄美市		1						石錘
	宇宿貝塚	奄美市		○						出土記載のみ点数不明
	ケジⅢ遺跡	奄美市		2						管畑式出土
	下山田Ⅲ遺跡	奄美市		5						
	城遺跡	奄美市		3		7	2			集計点数は不明
	朝仁貝塚	奄美市		○						
	手広遺跡	竜郷町		○						
	嘉徳集落遺跡	瀬戸内町		○						
	玉城遺跡	天城町								滑石混入土器?の報告あり
	中里遺跡	天城町		6			2			
	中組遺跡	天城町		32		809	72	8.9%		
	川嶺辻遺跡	伊仙町	第1遺構面	39		186	133	71.5%		
	ウシロマタ遺跡	伊仙町		2						
小計	滑石出土遺跡数 29 遺跡			2627			485	12.3%		

付表 1-2 滑石製石鍋出土遺跡一覧② (暫定版)

2014. 09. 19 (宮城作成)

No	遺跡名	所在	地区・層等	滑石製石鍋		在地土器	滑石混入土器	滑石混入土器/土器		その他
				片数	重量 (g)			口縁底部破片数	破片総数	
	安波貝塚	国頭村				183	18		0.06%	土器総計270点中18片は滑石混入土器
	今帰仁城跡	今帰仁村	主郭Ⅷ層							滑石混入土器あり
		今帰仁村	外郭Ⅲ・Ⅳ区Ⅲ～Ⅴ層	1	7.7					滑石混入土器あり
	フガヤ遺跡	名護市								滑石混入土器あり
	名護貝塚	名護市				1458	3	0.2%		滑石混入土器あり
	屋部前田原遺跡	名護市	Ⅱ地区	6	76.6					
	漢那ウエーヌアタイ遺跡	宜野座村		1	8.3					
	熱田貝塚	恩納村		14			2			
	伊波城跡	うるま市	沖縄本島石川市	1		5856	35	0.6%		パル状製品
		うるま市		1						
	東恩納ノ口殿内遺跡	うるま市		6						滑石混入土器あり
	具志川グスク	うるま市		1	24.0					
	平敷屋古島遺跡	うるま市	Ma18地点			1673	2	0.1%		
	平敷屋トウバル遺跡	うるま市		6	170.3					
	勝連城跡	うるま市	四の曲輪北区ほか	3	146.0	5201	567	10.9%		土製のパル状製品出土、滑石未報告筆者実見
			東の郭E-22	1						筆者実見
	浜グスク	うるま市								滑石混入土器出土あり
	タシーモ一遺跡	読谷村				150			0.0%	
	ウガンヒラー北方遺跡	読谷村		3						筆者実見
	大湾アガリヌウガン遺跡	読谷村	1次			273	1			白磁Ⅳ、青磁Ⅲほか
	屋良グスク	嘉手納町				436	4	0.3%	0.9%	胴部総計99
	屋良グスク	嘉手納町								滑石混入土器出土あり
	嘉手納貝塚東遺跡	嘉手納町		4		181				
	大里エーヤマ遺跡	沖縄市		1						
	砂辺サーク原遺跡	北谷町		16	229.4					
	伊礼原口遺跡	北谷町		1						
	後兼久原遺跡	北谷町	町調査	89		1004				
			県調査Ⅰ地区	20						
			県調査Ⅱ地区	6	816.8	2736	43	3.1%	1.6%	
			県調査Ⅲ地区			103	1	0.0%	1.0%	
	小堀原遺跡	北谷町	本調査	439	8487.0	50	8		16.0%	
	玉代勢原遺跡	北谷町	試掘調査	53	893.0	2				
	新城下原遺跡	北谷/宜野湾		1	24.4					滑石混入土器あり
	安仁屋トウンヤマ遺跡	宜野湾市		5	156.6		12			グスク土器総計819点中14片は滑石混入土器
	上原同原遺跡	宜野湾市								グスク土器総計93点中5片は滑石混入土器
	伊佐前原第一遺跡	宜野湾市		1	33.0	549		0.0%		グスク土器総計515点中38片は滑石混入土器
		宜野湾市		1	15.0	515				土器総計1469点中66片は滑石混入土器
		宜野湾市		54	264.1	785	22	2.8%		グスク土器総計1003点中22片は滑石混入土器 (集計表)
	喜友名山川原第6遺跡	宜野湾市		4						
	喜友名貝塚・喜友名グスク	宜野湾市		4						
小計	滑石出土遺跡数 21	遺跡		743			908	4.6%	9.0%	

付表 1-3 滑石製石鍋出土遺跡一覧③ (暫定版)

2014.09.19(宮城作成)

No	遺跡名	所在	地区・層等	滑石製石鍋		在地土器	滑石混入土器	滑石混入土器/土器		その他
				片数	重量(g)			口縁底部破片数	破片総数	
	真志喜大川原第一遺跡	宜野湾市		○						出土の記載あり
	真志喜富盛原第2遺跡	宜野湾市		10		681	175	27.7%	25.7%	
	真志喜蔵当原遺跡	宜野湾市		4						掲載分
	真志喜石川第1遺跡	宜野湾市		○						出土の記載あり
	真志喜森川原遺跡	宜野湾市		4		193	15			
	我謝遺跡	西原町								滑石混入の記載あり
		西原町		9		646	8	1.2%		グスク土器総計649点中8片は滑石混入土器
	浦添城跡	浦添市	第1次調査				1			滑石混入土器あり
		浦添市	トレンチ13・16・18第7層		1					石鏝
	真久原遺跡	浦添市		1	15.0	1329	3		0.2%	グスク土器計1483片中2.3片滑石混入
	牧港貝塚	浦添市	I地区	1						滑石混入土器あり
	ヒヤジヨ一毛遺跡	那覇市		103	118.0	1790	34	4.4%	1.9%	滑石細片(1~5mm)99点
	銘苅原遺跡	那覇市		78	312.6	30470	467	2.3%	1.5%	滑石細片(1~5mm)35点
	銘苅原遺跡	那覇市		1						滑石混入土器あり
	銘苅原南遺跡	那覇市		1	66.5					滑石混入土器あり
	銘苅直祿原遺跡	那覇市		1		1476	3	0.0%	0.2%	
	安謝東原遺跡	那覇市				4151	8	0.9%	0.2%	
	識名原遺跡	那覇市				760	11		1.4%	
	識名シーマ御嶽	那覇市		2	58.9	357	3	23.1%	0.8%	
	伊良波東遺跡	豊見城村		29	302.3					
	高嶺古島遺跡	豊見城村		1						
	渡嘉敷後原遺跡群	豊見城村		7	24.0					滑石混入土器あり
	宜保アガリヌ御嶽	豊見城村		5	6.6					滑石混入土器あり
	津嘉山古島遺跡	南風原町				6378	10		0.2%	滑石混入土器あり
	仲間村跡	南風原町	A地点			2408	10		0.4%	滑石混入土器あり
	クニンド一遺跡	南風原町	第1-3次調査			392	2	0.0%	0.5%	
	津嘉山古島遺跡	南風原町								滑石混入土器あり
	津嘉山クボ一遺跡	南風原町		2		562	13		2.3%	滑石混入土器あり
	大里城跡	南城市								
	稲福遺跡群	南城市		1		37936	5	0.2%	0.0%	
	佐敷グスク	南城市		3			10			
	佐敷下代原遺跡	南城市		6						
	糸数城跡	南城市		1						滑石混入土器あり
	多々名グスク	八重瀬町		1		785		0.0%		
	阿波根古島遺跡	糸満市								滑石混入土器あり
	伊原遺跡	糸満市	要確認			2485	23	0.9%		滑石混入土製鏝有
	大里伊田慶名原遺跡	糸満市				3655				滑石混入土器あり
	佐慶グスク	糸満市								滑石混入土器あり
	ヤジャーガマ洞穴	久米島町	B地点表採集	1						
小計	滑石出土遺跡数 21 遺跡			273			611	3.7%	0.9%	

付表 1-4 滑石製石鍋出土遺跡一覧④ (暫定版)

No	遺跡名	所在	地区・層等	滑石製石鍋		在地土器	滑石混入土器	滑石混入土器/土器		その他
				片数	重量(g)			口縁底部破片数	破片総数	
	箕島遺跡	宮古島市		○						
	住屋遺跡	宮古島市		1			5			
	新里元島上方台地	宮古島市								
	尻川遺跡	宮古島市								
	滑石出土遺跡数 2 遺跡			1			5	0.4%	0.1%	
	新里村東遺跡	竹富町								
	新里村西遺跡	竹富町		1	10		1			滑石混入土器あり
	カイジ村遺跡	竹富町								
	慶栄慶田城遺跡	竹富町		1	2.2					※筆者計量
	大泊浜貝塚	竹富町	県調査	1						
小計	滑石出土遺跡数 3 遺跡			3			1	0.0%	0.0%	

付表 1-5 滑石製石鍋出土遺跡一覧⑤ (暫定版)

	遺跡数	滑石数	混入土器	混入土器出現率 (平均)
熊毛諸島	17	3		
トカラ列島	2	1		
奄美諸島	29	2,627	485	12.3%
沖縄諸島	47	1,016	1,519	0.0%
宮古諸島	2	1	5	0.1%
八重山諸島	3	3	1	0.0%

網掛け部分は掲載分計量値は参考